

山田
広報

町民総出で列車歓迎 祝! リアス線誕生

【三陸鉄道リアス線開通イベント・関連記事 9 頁】

No.
1166

今号の山田広報

平成31年施政方針

山田町のお金の使い方

町のわだい

2 ~ 5

6 ~ 7

8 ~ 9

CONTENTS

4月1日号



●施政方針と31年度予算●

町の指針示される

復興事業

▼東日本大震災の復旧・復興対策として、これまでに国から支援された復興交付金などは、およそ1520億円です。▼30年度は、町道細浦・柳沢線の全線開通や、山田地区の高台団地とかさ上げ地の整備完了などにより、復興の完遂に大きく前進しました。▼

種支援・補助制度を継続し、被災者の仮設住宅から恒久住宅への移行を支援していきます。▼間木戸地区の「ほっとサポートセンター山田」を拠点に「地域支え合い体制づくり事業」を継続し、仮設住宅暮らしが続く被災高齢者などが安心して過ごせるよう、専門職と連携した心のケアの実施や入居者同士が交流する機会に努めます。

健康と福祉の充実

▼生活習慣病予防教室や減塩活動などを実施します。31年度からスタートする「山田町自殺対策計画」に沿って、自殺予防の普及啓発活動に取り組みます。▼

県立山田病院については、診療体制の充実と医師確保のため、医師の招へい活動と県への要望を引き続き実施します。▼国民健康保険事業については、健全財政の維持に努め、医療費適正化対策を推進するなどし、高水準で推移している医療費の抑制に取り組みます。▼乳幼児・児童生徒、妊産婦、重度心身障がい者、ひとり親家庭などに対する医療費助成事業は、引き続き行います。乳幼児・児童生徒への医療費助成は、31年8月診療分から現物給付の対象を小学生まで拡大します。▼認知症高齢者とその家族を支えるため、認知症に対応したグループホームを1施設整備します。認知症になっても住み慣れた地域で生活できるよう、医療と介護、地域

結婚支援と子育て支援

との包括的な支援体制の構築に努めます。▼本年3月に策定する「第1期地域福祉計画」に基づき、基本理念である「ともに支えともに生きるまちづくり」の実現に努めます。▼障がい者福祉については、障がいのある人がいつでも適切なサポートを受けられるよう、相談支援体制の強化に努めます。

▼新婚夫婦の住まいへの支援である「結婚新生活サポート事業」、不妊治療にかかる「特定不妊治療費助成事業」を継続実施することに加え、新たに風しんの予防接種に係る費用を助成します。また「子どものインフルエンザ予防接種費助成事業」については、助成額を増額します。▼母子の心身の健全な育成を目指す「子育て世代包括支援事業」については、助産師および保健師が中心となり、妊娠期から子育て期にわたる総合的相談支援を引き続き実施します。

被災者の生活支援

▼被災者の住まいの再建方法に応じた各

中心市街地では、新しい陸中山田駅が三陸鉄道リアス線の開通を待つばかりで、また、国道脇で整備を進めている中央公園が今春に完成を迎え、近隣商店街と連動したイベントなどにより、一層活気付くことが期待されます。▼今後は、山田地区並びに織笠跡浜地区の低地部整備や織笠地区の防潮堤整備などを着実に完了させるとともに、県が施工している防潮堤および水門工事が一日でも早く完了するよう、引き続き強く要望していきます。

平成31年 施政方針

2月12日から3月8日にかけて開かれた第1回山田町議会定例会。37の議案が審議され、全て原案のとおり可決されました。定例会初日には、今後のまちづくりの方向性や重点施策を示す施政方針を佐藤町長が表明。本紙ではその一部を抜粋・要約し、紹介します。

健康と福祉の充実

結婚支援と子育て支援



移住定住 支援

▼ホームページなどを活用した「やまだ暮らし」の魅力発信や、移住コーディネートなどによる相談、マッチング活動などに取り組みほか、既存の施設を「移住お試し住宅」として活用することについて検討を進めます。▼都市住民の定住・定着を図り、地域力の維持・強化に資するため、地域協力活動を行う「地域おこし協力隊」の採用を進めます。

交通網

▼三陸沿岸道路については、全線開通による産業、経済、文化、医療などへの様々な波及効果が見込まれることから、一日でも早い全線整備を国に対して要望します。▼山田北インターについては、宮古方面にもアクセスできる「フルインター化」の実現について引き続き要望します。▼主要地方道重茂半島線の大沢・浜川目工区の一部供用が始まっています。トンネルを含む大沢小学校付近から国道までの区間は、31年度に開通する見込みです。▼織笠・外山線の礼堂地区の道路幅が狭いことから、拡幅・改良のための調査・設計を進めます。また、豊間根地区と荒川地区を結ぶ白山・船石線の歩道工事を実施します。▼町道などの維持補修については、その緊急性、必要性などを考慮しながら、適切な実施に努めます。長崎地区においては、引き続き道路側溝の改修を進めます。▼生活関連道については、私道等整備補助金の補助率を10分の5から10分の7に引き上げ、地域の要望に応えます。また、夜

間などを取得できるサービスを、32年1月からの開始を目標に準備を進めます。

間の安全な通行確保のため、防犯灯を設置します。橋りょうについては、「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、「第1落合橋」など6か所の補修工事を実施します。▼JR山田線は、リアス線として新たに生まれ変わり、3月23日に開通します。開通後は、地域特性を活かした企画列車の運行などにより、マイレール意識の醸成に努めます。▼公共交通については、本年3月に策定する「地域公共交通網形成計画」に従い、持続可能な公共交通ネットワークの実現に資する各種施策を実行に移します。

上下水道

▼良質な水道水の安定供給、効率

町営409戸、計640戸の全戸が完成しました。これに伴い、町営住宅の管理は、震災前の約4倍となりますが、今後は本年1月に開設された「山田町町営住宅管理センター」と緊密に連携しながら、効率的な管理運営に努めます。▼応急仮設住宅については、入居者に対して住宅再建や災害公営住宅への引っ越しを促し、県と連携しながら、解体・撤去を進めます。

住環境の 整備

▼高台住宅団地やかさ上げ地は、30年度の山田地区の第3団地と

かさ上げ地の整備により、全ての宅地引渡しが完了します。▼「柳沢北浜地区土地区画整理事業」については、国道のかさ上げ工事や県施工の水門および防潮堤工事との調整を図りながら、残る道路工事や整地工事などを、32年度の事業完了に向け実施します。▼復興事業の進展により、町の姿が大きく様変わりしたところなどを踏まえ、「山田町都市計画マスタープラン」の改訂に着手します。▼災害公営住宅は、計画戸数である県営231戸、

的は、経営基盤の強化を目的として、公共下水道事業と漁業集落排水処理事業を統合し、公営企業会計への移行を進めます。管きよ整備については、山田処理区内で実施し処理区域の拡大を図るとともに、接続率の向上を図るため、供用から3年以内の下水道接続工事に対し補助を行います。下水道事業計画処理区域外では、浄化槽の設置補助を行います。

行政サービス の向上

▼全国のコンビニエンスストアに

設置しているキオスク端末などで、マイナンバーカードを利用して住民票の写しや各種証明書



水産業の振興

▼カキ、ホタテなどの品質向上を

図るため、新たに「漁獲物品質向上支援事業」により漁業者の各種機器導入に対し助成を行い、漁協と連携して殻付きカキのブランド再生に取り組みます。▼漁協が策定した地域再生営漁計画の実行を促進するため「地域再生営漁活動支援事業」により、新規養殖種目の導入や漁業者の軽労化に向けた取り組みを支援します。▼秋サケについては、引き続き県や国などに対し、不漁要因の解明と資源の早期回復を要望します。▼磯根資源の回復と漁業所得の向上を図るため、漁協が行うアワビおよびナマコの種苗放流事業に対し、引き続き全額補助を行うとともに、放流効果の検証を進めます。▼未復旧の漁協や漁業生産組合の水産関連施設については、建設用地の確保に目処がついたことから「水産業経営基盤復旧支援事業」により製氷貯水施設や定置番屋・倉庫の再建を支援します。▼漁業担い手の確保・育成については、引き続き「豊かな浜の担い手育成支援事業」により、漁業後継者や新規就業者に対し助成を行うほか、漁業就業者育成協議会の活動を通して、漁業体験の実施や研修受入経営体

農林業の振興

▼農業委員会、農地中間管理機構

対する助成などに取り組みます。

と連携し、農地の集積、遊休農地の解消を推進するとともに、「多面的機能支払交付金事業」を活用して農地の保全を支援します。▼稲作においては、各農家によるブランド米導入を後押しするなど、付加価値の高い米づくりを目指します。また、野菜については、新品種の導入や収穫時期を調整するなど、農家の所得向上につながるよう、引き続き関係機関と連携します。▼県が30年度に着工した「農用地災害復旧関連区画整理事業」および「農村地域復興再生基盤総合整備事業」の荒川工区については、一部区域で今春に水稲の作付けが可能となる見込みであり、残る区域の31年度末の工事完了に向けて、県と連携を図ります。▼林業については、31年度から配分される「(仮称)森林環境譲与税」を活用しながら、持続可能な森林経営を推進します。町有林については、主伐・間伐および造林を計画し、効率的な森林経営に努めます。分収林契約などの森林については、分収組合などと協議の上、伐採を進めます。▼特用林産物であ

るシイタケについては、引き続き「特用林産物施設体制整備復興事業」「特用林産物生産促進支援事業」などにより、生産量の回復や担い手確保に向けた支援に努めます。

商工業の振興

▼山田商工会や共同店舗棟建設

営会社山田、各商業者グループなど関係団体と協働して、共同店舗棟や交流センターなど中心市街地エリアを核とした商業地の形成、にぎわいの創出に向けた取り組みを進めます。▼被災事業者の再建については、グループ補助や中小企業被災資産復旧事業費補助など、各種制度の活用を促し、営業再開を支援してきました。仮施設施設退去期限後も再建が進んでいない事業者については、引き続き山田町商工会と緊密に連携し、再建に向けた支援に努めます。▼民間出資による「地域商社」が昨年設立されました。「地域商社」や町内事業者と連携し、産業の活性化や新たな仕事の創出に向けた取り組みなどを進めます。また、ふるさと応援寄付金の返礼品として贈る「ふるさと特産品」は、「地域商社」に業務を委託し、特産品需要の拡大につながるよう、取り組みます。





観光の振興

▼観光振興については観光客の増加が町内各産業の活性化につながるよう、行政、民間事業者および地域住民の垣根を越えて、連携・協働し、町の地域資源や産業への理解を深め、魅力ある観光資源の創出に取り組んでいます。

▼山田町の魅力を広く発信するため、1年を通して集客力のあるイベントを開催するとともに、引き続き山田町観光協会や山田の魅力発信実行委員会の活動を支援し、観光客の誘客促進を図ります。▼オランダ島については、被災した避難路や法面などの改修、平場の造成整備を進めます。また、環境省が整備するトイレ、更衣室についても、同時期に整備が進められるよう連携します。整備後は、新たな体験観光プログラムの核として、さらなる利用促進を図ります。▼前県立山田病院跡地に整備を予定している新たな観光拠点については、検討委員会を本年3月に立ち上げ、学識経験者や地域団体などの意見を織り交ぜながら、整備の具体方針となる基本構想・基本計画を策定します。また、病院解体工事を年内に完了させ、新施設建設に向けた取り組みを本格化します。

学校教育

▼震災からの教育の本格復興に向けた取り組みを一層充実させ、学校給食センターは、本年6月の完成を目指し、32年4月から

の学校給食の提供に向け取り組みます。▼小中学校の再編については、豊間根中学校を閉校し、山田中学校に編入、大沢、山田北、山田南、織笠、轟木、大浦の各小中学校を閉校し、新たな小中学校として統合します。また、荒川小学校を閉校し、豊間根小学校への編入を進めます。合意が得られた地区には準備委員会を設置し、32年4月の新学校開校に向け準備を進め、全ての児童生徒が希望を持って学校生活を送れる環境づくりに努めます。

生涯教育

▼地域と学校をつなぐコーディネーターにより、子ども達の学

びや成長を地域全体で育む体制づくりに取り組みます。▼教育振興運動各実践区の今後の在り方については、小中学校の再編へ向け、さらに充実した活動になるよう検討します。▼B&G海洋センター事業については、町内外から積極的に参加者を受け入れ、海に親しむ機会の提供に努めます。

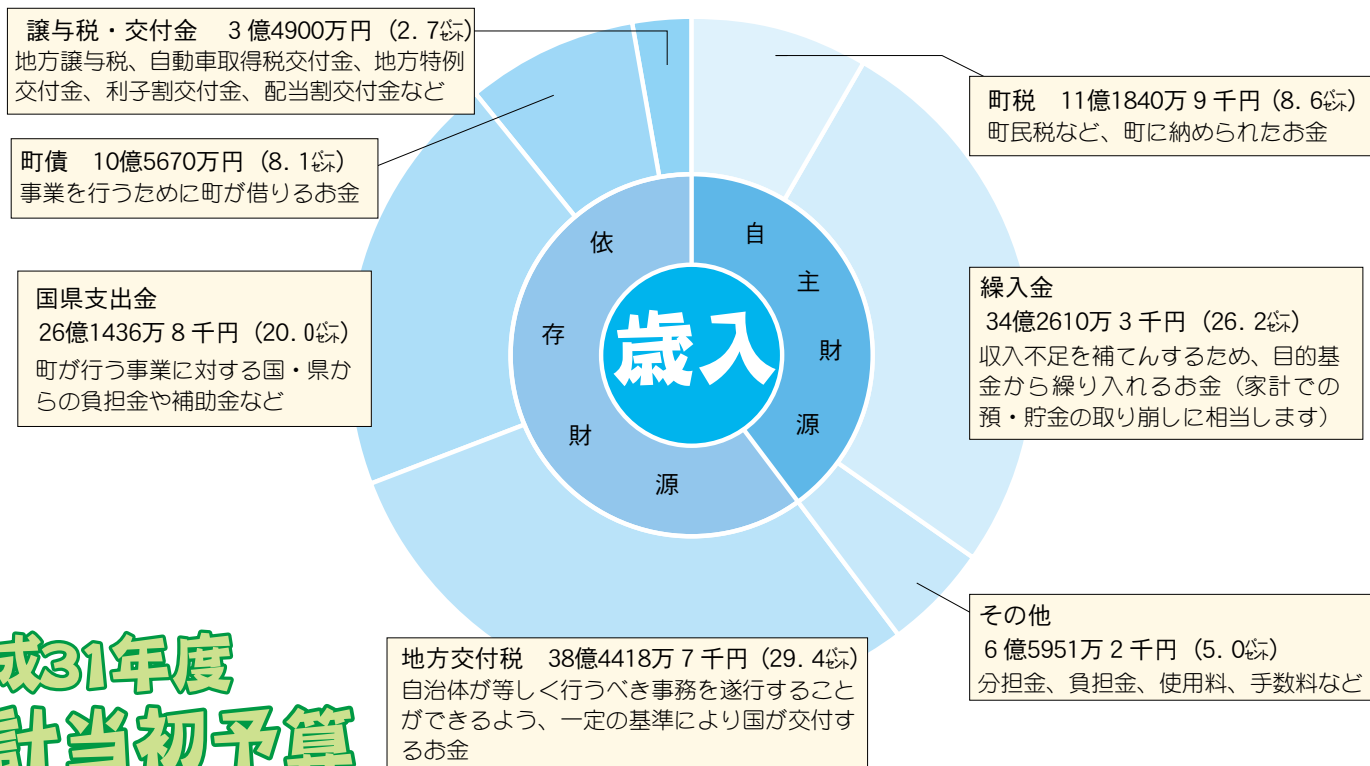
防災防犯対策

▼自分の身は自分で守るという

「自助」意識を醸成するとともに、総合防災訓練や自主防災組織の活動支援などを通じて「共助」による地域防災力の向上を図ります。▼山田町地域防災計画の継続的見直しを行うほか、災害時に住民や観光客などが避難所表示標識を頼りに避難できるよう「津波避難看板設置事業」を行います。▼「公衆無線LAN環境整備事業」により、携帯電話などで避難情報などを収集できるよう、小中学校体育館などの避難所にWi-Fi環境を整備します。▼老朽化している消防ポンプ自動車などの更新と消防水利の不足している地域に対し、地下式消火栓および耐震性貯水槽の設置を進めます。地域防災の要である消防団員の加入促進に努めます。▼織笠漁港海岸防潮堤の復旧については、年内の全工区完成に向け取り組みます。▼豊間根地区の排水路整備については、31年度は堂ヶ鼻地区の工事に着手します。▼中心市街地に開所する「民間交番地域安全センター」の運営を支援していくとともに、各種防犯団体や山田交番と連携し、同施設の充実に向けた取り組みを後押しします。



平成31年度 会計当初予算



山田町のお金の使い方

●●●平成31年度山田町当初予算の概要●●●

平成31年度山田町一般会計・特別会計の予算が、町議会第1回定例会で可決されました。4月から3月までの1年間に、町がお金をどう使うかをまとめた当初予算。予算のポイントや本年度に行う取り組みの一部を紹介します。

本年度、私たちの生活がどのように変わっていくのかを見ていきましょう。

町の予算とは？

町の予算とは、1年の収入（歳入）と支出（歳出）の計画を示したものです。

■**歳入の例** 皆さんからの税金、国や県から交付されるお金、公共施設の使用料——など

■**歳出の例** 道路や公園の整備、医療や子育て支援、観光振興にかかる費用——など

予算の種類

町では、予算を管理しやすいように、3種類8つの財布（会計）に分けて予算を管理しています。各会計の種類と予算は次のとおりです。

■一般会計

町が行う財政運営の基本的な経費を計上した会計
・130億6827万9千円

■特別会計

ある特定の事業を行うための特定の収入・支出について、一般会計と区別して経理が行われる会計。

- ・山田町国民健康保険特別会計（事業勘定）…22億5589万9千円
- ・山田町後期高齢者医療特別会計…1億7337万3千円
- ・山田町介護保険特別会計（事業勘定）…18億2958万1千円
- ・山田町介護保険特別会計（サービス事業勘定）…213万8千円
- ・山田町漁業集落排水処理事業特別会計…1億5421万3千円
- ・山田町公共下水道事業特別会計…5億4580万6千円

■企業会計

料金収入で運営している事業の会計

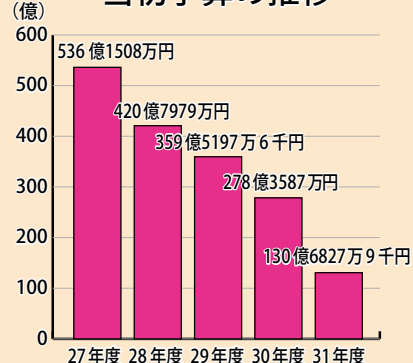
- ・山田町水道事業会計…11億490万7千円

※収益的支出予算と資本的支出予算の合計額を掲載しています。

本年度予算のポイント

平成31年度当初予算は、東日本大震災後の24年度以降の当初予算計上額としては最少の規模となりました。理由としては、復旧・復興の進展に伴う事業費の減減によることが挙げられます。

当初予算の推移



用語解説

■自主財源

町が自主的に収入できる財源。自由に使い道を決めることができるため、この割合が高いほど財政の自主性と安定性が高いと言えます。町税や分担金および負担金などが該当します。

■依存財源

国や県から定められた額を交付されたり割り当てられたりする収入。地方交付税や国・県支出金などが該当します。

■新規事業

本年度町が新たに行う事業

■拡充事業

昨年度よりも予算を増額して行う事業

その他 12億6489万7千円 (9.7%)
議会費、労働費、商工費、消防費、災害復旧費など

公債費
6億6889万1千円 (5.1%)
町債の返済金と利子の支払いに要する経費

衛生費
5億1402万5千円 (3.9%)
各種検診、予防接種、ごみ処理などに要する経費

教育費
9億5698万1千円 (7.3%)
学校教育や社会教育に要する経費

農林水産業費
11億7551万2千円 (9.0%)
農林業や水産業の振興を図るための支援や生産基盤整備にかかる経費

総務費 17億4795万2千円 (13.4%)
町の事務、庁舎管理、町民活動の推進などに要する経費

土木費
42億6502万4千円 (32.6%)
道路、河川、公園の整備、町営住宅の管理などに要する経費

民生費
24億7499万7千円 (19.0%)
児童、高齢者、福祉医療などに要する経費

歳出

一般

主な新規・拡充事業

公衆無線LAN環境整備事業 約1,564万円



災害発生時に情報伝達手段を確保するため、小中学校体育館などの避難所にWi-Fi環境を整備し、携帯電話などで避難情報を収集できるようにします。

新たな観光拠点整備事業 約1億9,290万円



前県立山田病院に整備を予定している新たな観光拠点の整備事業予算。病院の解体工事費のほか、学識経験者などからなる検討委員会による計画策定に必要な費用を計上しています。

マイナンバーコンビニ交付サービス導入事業 約4,162万円



マイナンバーカードを利用してコンビニエンスストアなどで住民票の写しや各種証明書などを取得できるサービス。平成31年度中の開始を目標に進めます。

オランダ島整備事業 約5,000万円



被災した避難路や法面などの改修や平場の造成整備をするなど、オランダ島を新たな体験観光プログラムの核として利用できるように、整備を進めていきます。

織笠礼堂地区道路改良事業 約811万円



織笠・外山線の礼堂地区の道路幅広幅・改良のための調査・設計を進めます。

津波避難看板設置事業 約1億790万円



住民や観光客などが確実かつ迅速に避難できるよう、津波避難看板の設置を進めます。

子どものインフルエンザ予防接種費助成事業 約570万円



助成額を増額して子どもたちの健やかな成長を支援します。

犠牲者を悼み、あの日を忘れない 御蔵山に慰霊碑を建立

3月11日、八幡町の御蔵山復興祈念公園に「東日本大震災津波犠牲者慰霊碑」が建立されました。これは、東日本大震災の犠牲者を悼むとともに、あの日の記憶・教訓を忘れないために町が建てたものです。また、同日町中央公民館大ホールで行われた「東日本大震災大津波山田町犠牲者八周年追悼式」には、遺族や来賓、一般参列者など約400人が献花に訪れ、犠牲者を追悼。佐藤町長は式辞で「山田町の皆さまが安心して暮らせる町になるよう、一日も早い復興の完遂へ全身全霊をかける」と、誓いました。



インターナショナルナイト 各国との文化交流図られる

3月22日、町中央コミュニティセンターで「インターナショナルナイト」が行われました。これは、町と岩手県国際交流協会が主催した国際交流イベントで、県内に住む外国人が本町を訪れ、参加者約100人と交流を図りました。各国の踊りや歌、民族衣装などのファッションショーで盛り上がったこのイベント。会場には、オランダやロシアなど10カ国の特産品が展示されたブースのほか、お菓子や料理が並び、参加者はさまざまな国の人とコミュニケーションを図りながら、異文化に触れていました。

御蔵山でラッパが鳴り響く 消防殉職団員慰霊之碑除幕

3月10日、八幡町の御蔵山復興祈念公園で、東日本大震災などで犠牲となった消防団員を慰める「消防殉職団員慰霊之碑」の除幕式が行われました。慰霊碑は消防団が建立。式では、佐藤町長、内館秋雄^{あきお}団長が除幕。ラッパが鳴り響く中、出席した消防団員ら約50人が黙とうし殉職者に敬意を表しました。内館団長は「震災では消防団員は我が身を顧みず住民の生命と安全を守り抜こうとしました」と哀悼。佐藤町長は「勇気ある行動を慰霊之碑に刻み、将来に継承していきたい」と力を込めました。



町民の集いで入江^{ゆうこ}優子さん講演 地域に根付いた教育考える

2月24日、町中央公民館大ホールで「人づくり町づくり 町民の集い」の特別講演会が行われました。今年の講師は東京学芸大学で社会教育の立場から経済的に困難な家庭状況にある児童生徒へのパッケージ型支援をしている入江優子さん。「教育がつなぐ地域の未来」と題して、今までの教育が歩んできた歴史を踏まえながら、昔と現在との教育の違いを例に挙げ講演。最後には、学校統廃合の痛みを超えて、地域の産業や歴史、文化、自然といった地域に根付いた教育が必要なることを伝えました。



町のわたい

今月の題字 堀合 柊摩君（山田南小6年）



三陸鉄道リアス線開通イベント 開通祝い、列車を歓迎

3月23日に三陸鉄道リアス線が開通しました。23日と24日には、開通に合わせたイベントが陸中山田駅前で行われ、訪れた人は、著名人や町内の団体によるステージイベント、陸中山田駅周辺をめぐるスタンプラリーなど、さまざまな催しを楽しんでいました。列車の運行を一目見ようと、多くの人が集まった陸中山田駅構内。飾られた大漁旗や「祝！三陸鉄道リアス線誕生」と書かれた手持ちの旗を振る人々が列車を出迎えました。23日は、町内各駅でも町民が旗を振って歓迎。8年越しの列車の運行を感慨深く見届け、喜びを分かち合っていました。

5人が学び舎を巣立ち 轟木小学校で卒業式

旅立ち、新たな生活への希望に満ち溢れる3月。町内各地で卒園式、卒業式が行われました。3月20日には、轟木小学校（八重樫浩二校長）で平成30年度卒業式が行われ、5人（男4人、女1人）が晴れの巣立ち。八重樫校長から一人ひとり卒業証書をしっかりと受け取りました。卒業生は、6年間の思い出と感謝の気持ちを家族や在校生、先生に伝え涙。また、慣れ親しんだ校舎との別れを惜しみながらも、これからの中学校生活に期待を膨らませていました。今年の町内小学校の卒業生は全体で97人（男60人、女37人）でした。



図書館だより

【開館時間】 平日：午前9時～午後7時
日曜日・祝日：午前9時～午後5時
◆問い合わせ 町立図書館 ☎82-3420 へどうぞ。

4 2019. Apr.							5 2019. May						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6			1	2	3	4	5
7	8	9	10	11	12	13	6	7	8	9	10	11	12
14	15	16	17	18	19	20	13	14	15	16	17	18	19
21	22	23	24	25	26	27	20	21	22	23	24	25	26
28	29	30					27	28	29	30	31		

■：休館日 ○：移動図書館運行日(場所は下表のとおり)
※4/31と5/1は祝日ですが、臨時休館となります。

県立図書館巡回展

◎文学賞受賞図書展

平成29年7月から30年6月までの間に、新聞・雑誌などで発表された文学賞・文化賞受賞作品の中から、県立図書館に所蔵されている図書を展示します。

▷期間 4月5日(金)～4月14日(日)

◎啄木資料展

平成28年8月から30年7月までの間に、県立図書館が新たに収集した石川啄木関連図書を展示します。

▷期間 5月17日(金)～5月26日(日)

しかけ絵本展

図書館に所蔵しているしかけ絵本を展示します。動きのある迫力満点な絵本を、どうぞご覧ください。

▷期間 4月17日(水)～5月6日(月)

ミニ展示

つながったよリアス線



図書館所蔵の鉄道関係図書を展示しています。

▷期間 4月25日(木)まで

お話じゅうたん

読書ボランティアの皆さんによる絵本の読み聞かせです。お楽しみください。

▷日時 4月21日(日)、5月19日(日)午前10時半から

◆移動図書館運行予定表

到着時間 (55分滞在)	運行日・場所(仮設住宅)	
	4月5日、19日 5月3日、17日	4月10日、24日 5月8日、22日
午前9時半	浦の浜	猿神担い手
午前10時50分	山谷	町民ランド
午後1時20分	関口担い手	処理場予定地
午後2時45分	旧不動生コン第1	関谷担い手

※4月から運行経路を変更しましたので、ご注意ください。

新刊図書PICKUP

■一般図書

- ・「生き残った人の7つの習慣」 小西浩文著
- ・「国民とともに歩まれた平成の30年」 宮内庁侍従職監修
- ・「鷹と生きる」 谷山宏典著
- ・「地面師」 森功著
- ・「ちょっと心配な健康診断の数値がすぐにわかる本」 和田高士監修
- ・「ドライフラワーレッスン24」 Kristen著
- ・「白崎裕子の料理とおやつ」 白崎裕子著
- ・「樹木希林120の遺言」 樹木希林著
- ・「昨日がなければ明日もない」 宮部みゆき著
- ・「キンモクセイ」 今野敏著
- ・「麒麟児」 沖方丁著
- ・「つくもがみ笑います」 畠中恵著

■児童書

- ・「どんぶりん」 新井洋行著
- ・「おしりたんてい プブックやまのしろいかいぶつ!？」 トロルさく・え著
- ・「ほしじいたけほしあたけ」 石川基子作
- ・「クジラのおなかからプラスチック」 保坂直紀著
- ・「らくだい記者と白雪のドレス」 あんびるやすこ著
- ・「ボク、もぐらんぴあ」 朝日小学生新聞著

やまだ文芸広場

叶うなら

分けてあげたい貴方にも
珈琲タイムの 至福の時を

有難う 湯たんぽ抱いて 四ヶ月
優しい温もり 親の愛

匿名(豊間根・70代)

雑炊や 清食にして 恙なく

暮れかかる 野面にゆらりと 枝伸べて

物思うらし 白梅の一樹

春近し 薄紫の 口開けて
おおいぬふぐり 大笑いせり

内館洋一(飯岡・76)

これから 行くあてもない 一人旅

春よ来い 言って無駄か この俺にや

下田栄作(織笠・94)

雪洞の 灰かな明りや ひなの笑み

津波来し

恐怖の一夜 一睡もせず
夜明けの町は 瓦礫と化して

沼崎悦子(船越・77)

藤原の 樹の香に浮かぶ キリル文字

田代美智代(53)



佐々木 ^{さえこ} 冴子さん（船越・23）

となつています。
理想とする消防
士像を「現場で女
性や子供の気持ち
に寄り添う消防
士」と語る佐々木
さん。「経験を積
み、今まで支えて
もらった多くの人
に恩返しが出来
るよう日々頑張っ
ていきたい」と笑
顔で語りました。

気持ちに寄り添う消防士に

現場に出てみて感じたことは、
思っていた以上に力が必要だとい
うこと。そのため、日々ト
レーニングに励み、体力強化に
汗を流しています。
リフレッシュ方法は、休日に
買い物したり、趣味の音楽で
いるいろいろな曲を聴いたりするこ
と。また、先輩職員との会話も
気持ちを切り替える方法の一つ

「救急の現場では、
患者さんの気持ちを考えて
寄り添うことを心が
けています」。そう語
るのは、昨年4月に宮
古広域消防職員として
採用された佐々木冴子
さん。消防学校での訓
練を終え、昨年10月か
ら山田消防署に勤務し
ています。

佐々木さんが消防職
員を目指した理由は、
東日本大震災の時に現
場に出て活動する消防
士を見て、誰かのため

キッチンスタジオ

No.121

ハーモニー

このコーナーでは、町栄養士や山田町食生活改善推
進員連絡協議会の皆さんが手軽に作れるお弁当や郷土
料理、旬の食材を使った料理などをご紹介します。今
回は、「まぐろカツ カラフルソースがけ」です。

【材料（2人分）】

マグロ(柵)…160g[※] 塩・こしょう…少々 揚げ油…
少々

〈揚げ衣材料〉 小麦粉…大さじ2～3 卵…1/2個
パン粉…大さじ5 揚げ油…適量

〈ソース材料〉 トマト…中1個 きゅうり…1/2本
紫たまねぎ(普通の玉ねぎでも可)…1/4個 パプリ
カ(黄色)…1/4個 レモン汁…大さじ2 にんにくす
りおろし…1片分 酢…大さじ1 オリーブオイル
…大さじ2～3 塩・こしょう…少々 粗びきこ
しょう…お好みで はちみつ…小さじ2

【作り方】

- ①ソースを作る。すべての野菜を細かく5mm角に切
り、ソース用の調味料と合わせて、冷蔵庫で冷や
しておく。
- ②マグロは水でさっと洗い、キッチンペーパーで拭
き、2等分に切って塩・こしょうを振る。
- ③マグロに小麦粉をまぶし、卵液、パン粉の順につ
ける。
- ④鍋に揚げ油を注ぎ、170℃にする。1分弱を目安に
カラッと揚げる（マグロの中心が生状態になる
ように、衣に色が付いたらすぐに上げる）。

まぐろカツ カラフルソースがけ



1人あたりの栄養素 354kcal[※]、塩分2.0g[※]

- ⑤マグロを1.5cm幅に切り、器に盛る。冷やしていた
ソースをかけて出来上がり！

【ポイント】

さっぱり味のソースはお魚にもお肉にも合う万能
ソースです。ソースの酢をバルサミコ酢や果実酢など
に変えてもおいしくいただけます。

教育委員会だより vol.14

◆問い合わせ 町学校教育課総務係
(☎82-3111内線312)または町生涯学習課社会体育係(☎82-3111内線625) へどうぞ。

天空海闊

—空、とこしえに碧くして 海、穏やかにどこまでも—

復興「ありがとう」ホストタウン事業報告 町食材活用し、料理開発



オランダのボードゲーム「シューレン」を体験する子どもたち

復興に貢献いただいた皆さんに感謝を伝える「復興『ありがとう』ホストタウン」事業。町では、オランダを相手国にさまざまな取り組みを行っています。昨年11月に行われたオランダ島ハウス5周年プレイベントでは、町内の放課後児童クラブに通う児童たちが参加し「シューレン」と呼ばれるオランダのボードゲーム体験やチューリップ球根の植栽などを行い、オランダの文化に触れました。



多くの町民が参加し、アイデアを出し合いました。

今年1月には、町民を対象としたオランダ料理教室を実施。また、料理教室で出されたアイデアをもとに、山田町産の食材を活用したオランダ料理を開発しました。開発した料理は、オランダ王国大使館を会場として行われた試食会において、復興支援をいただいたオランダ人関係者へ振る舞いました。また、3月には町内で報告会を実施し、商工会、飲食店、野菜生産者などが料理を試食。開発した料理を活用した今後の取り組みについての検討会も行いました。

今後は、オランダとの交流の歴史や食文化についても周知し、オランダをより身近に感じられるような事業を行っていきます。



NTTドコモ東北応援社員募金 子どもたちへ遊具寄贈

株式会社NTTドコモ東北支社から、遊具設置に係る寄付金が寄贈されました。これは、同社員が募金する「東北応援社員募金」により行われたものです。3月12日には目録の贈呈が行われ、佐藤町長は「2年前にも寄付をいただいている。大変ありがたい」と謝意を伝えました。

この寄付金により、震災の影響で屋外遊具が撤去されていた大沢小学校と織笠小学校へ、5月頃までに遊具が設置される予定です。

第78回全国教育美術展 大浦小が学校賞受賞



第78回全国教育美術展で、大浦小学校が地区学校賞（岩手県教育委員会賞）を受賞しました。全国教育美術展は日本で最も長い歴史を持つ教育美術コンクールで、同小学校は、各学年2人ずつが絵画で特選に入選するなど、多数の活躍が認められ、今回の受賞となりました。県内の小学校としては、今年唯一の受賞となりました。

平成30年度 山田町教育表彰

児童・生徒の活躍たたえる

文化・スポーツ面で輝かしい成績



クラブ活動や各種コンクールなどで活躍した児童・生徒、町民をたたえる「平成30年度山田町教育表彰授与式」が2月24日、町中央公民館大ホールで行われました。表彰を受けた児童・生徒の皆さんをご紹介します。（大会成績は紙面の都合により一部抜粋しております。）

◎文化活動

【小学生】▼大沢小学校新聞委員会・館下あおい、鈴木心清、千葉琳音（6年）三上乃愛、佐々木優花、道又結（5年）福士怜、安倍菜々香（4年）：岩手県小中学校新聞コンクール（小学校・学校新聞の部）最優秀賞▼千葉琳音（大沢小6年）：第64回青少年読書感想文岩手県コンクール・岩手県教育委員会教育長賞▼坂本大地（山田南小6年）：第35回岩手県海の子絵画展（小学校の部）最優秀賞▼佐藤花音（山田南小5年）：第66回統計グラフ全国コンクール第3部（小学校5・6年の部）佳作▼佐藤杏那（山田南小4年）：第66回統計グラフ全国コンクール第2部（小学校3・4年の部）入選▼佐藤遼汰（山田南小2年）：第62回岩手県統計グラフコンクール第1部（小学校1・2年の部）特選▼2年菅原学級（山田南小2年）：岩手県小中学校新聞コンクール（小学校はがき新聞の部低学年）優秀賞▼道又柚葵（轟木小1年）：第35回岩手県海の子絵画展（小学校の部）優秀賞▼森下葉月（轟木小2年）：第19回未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクール（小学校低学年の部）第二管区海上保安本部優秀賞▼篠澤星名（轟木小1年）：第19回未来に残そう青

い海・海上保安庁図画コンクール（小学校低学年の部）海上保安協会釜石支部長賞▼小野寺優奈（船越小2年）：第35回岩手県海の子絵画展（小学校の部）優秀賞▼佐々木秀和（船越小1年）：第35回岩手県海の子絵画展（小学校の部）優秀賞▼佐々木瑞恵（大浦小6年）：第78回全国教育美術展・特選▼山崎琉央（大浦小5年）：第78回全国教育美術展・特選▼山根瑛龍（大浦小3年）：第35回岩手県海の子絵画展（小学校の部）優秀賞▼山崎唯史（大浦小2年）：第71回岩手県芸術祭小・中学校美術展・芸術祭賞

【中学生】▼阿部頼将（山田中3年）：第62回岩手県統計グラフコンクール（パソコン統計グラフの部）入選

【高校生】▼木村咲花（宮古高3年・放送部）：第65回NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会（ラジオオドキュメント部門）出場▼宮古高校吹奏楽部・坂井義弥、山崎寛奈（3年）福士遥奈、佐々木梓、佐々木一成（2年）小山叶生、佐々木和華、富山英恵（1年）：第42回全国高等学校総合文化祭2018信州総文祭（吹奏楽部門）出場▼宮古工業高校放送委員会・佐藤浩人（3年）糠森玲音（2年）小林信人（1年）：第65回NHK杯全

◎スポーツ活動

国高校放送コンテスト全国大会（ラジオオドキュメント部門）出場



【中学生】▼山田中学校剣道部男子・斉藤利光、吉田祥太郎、田畑真、五十嵐颯（2年）木下一志、山根颯龍、祝田高佑（1年）：岩手県中学校新人大会剣道競技（男子団体）第1位

【高校生】▼佐藤寧寧（宮古高通信制2年）：第20回全国高等学校定時制通信制バドミントン大会（団体戦・個人戦）出場

※体育協会表彰と芸術文化協会表彰については、それぞれ3月31日発行の「体育協会だより」、「芸文協だより」に掲載されます。

三陸防災復興 プロジェクト2019

期間 6月1日(土)～8月7日(水)

場所 岩手県沿岸13市町村

新しい三陸を世界へ

三陸防災復興プロジェクト実行委員会では、6月1日から8月7日にかけて「三陸防災復興プロジェクト2019」を開催します。同プロジェクトでは、沿岸13市町村を中心にさまざまなイベントを企画しており、本町でも、音楽祭や芸術祭、食にまつわるイベントなど、数多くのイベントが実施される予定です。イベントの詳細については、直近の「広報やまだ」でお知らせしていきます。今号では、プロジェクトの目的などをお伝えします。また、パンフレットを町民ホールにて配布していますので、ご覧ください。

プロジェクトの目的は？

開催予定イベント

東日本大震災から9年目となる今年は、三陸鉄道による久慈―盛間の一貫運行のほか、陸前高田市に整備が進められている東日本大震災津波伝承館の開館、ラグビーワールドカップ2019の金石市開催など、三陸地域が日本国内のみならず世界から注目を集める年となります。

この機会を捉え、同プロジェクトは①東日本大震災津波の風化を防ぐ②震災の記憶と教訓を伝え、世界の防災力向上に貢献する③国内外からの復興への支援に対する感謝を伝える④三陸地域への関心や認知度を高め「新しい三陸の創造」につなげる―ことなどを目的に開催されます。目的実現のため、さまざまなイベントを通し、世界へ三陸を発信していきます。

■オールいわて・祭りイベント

三陸地域の伝統芸能をはじめとする県内の祭りを一堂に集めたイベント

■三陸音楽祭2019

著名人やオーケストラなどによるコンサートや音楽イベント

■三陸プレミアムランチ列車

三陸鉄道の列車内で、有名シェフ監修の地元食材を活用した料理やうい・ほや・ほたてを使用した料理を提供

■三陸絆スポーツフェスタ

東京2020オリンピックパラリンピック関連イベントや著名人とのスポーツ交流イベント

◆問い合わせ 三陸防災復興プロジェクト実行委員会

(☎019-629-1622) へどうぞ。

私道等整備事業

補助割合を増額

町では、私道などの整備にかかる経費に対して補助金を交付しています。事業の詳細についてはお問い合わせください。

▽対象工事 道路舗装工事、または道路舗装工事と併せて行う側溝並びに転落防止柵設置工事

▽補助金額 工事費の10分の7(上限150万円)

▽補助条件 ▼私道などの延長が20m以上かつ幅員が1.5m以上であること ▼私道などの一端が町道などの舗装道路に接続していること ▼私道などに面している家屋が3戸以上あること ▼私道などが、築造後2年以上経過していること(個人または団体などによる住宅分譲地のような私道などの場合は、築造後20年以上経過している必要があります)

◆申込先・問い合わせ 町建設課土木管理係(☎8213111内線2311、232、233) へ。

町の制度や政策学びませんか

まちづくり出前講座

町では「まちづくり出前講座」を実施しています。

同講座は、町で行うさまざまな制度や政策について町民の皆さんへ情報を提供し、広く町政に関する理解を深めてもらうことで、住民協働を進めることを目的としています。町内の団体やグループなどであればどんなでも開催でき、受講する皆さんの要望に応じて、各担当課の職員が講座を行います。

なお、この講座は皆さんの相談や要望などをお聞きするものではありませんので、ご理解をお願いします。

同講座の開催を希望する人は、開催希望日の2週間前までに申し込みください。

▽開催時間 ▼平日：午前10時

～午後9時 ▼土・日曜日、祝

日：午前10時～午後4時

※原則として、開催時間は講座1回につき2時間以内としてください。

▽開催場所

町内の公共施設や事業所の会議室、学校など（個人のお宅では行いません）

※会場の確保や開催告知など、講座を行うための準備は主催者側で行っていただきます。

▽申込方法

町ホームページまたは復興企画課に備え付けの申込用紙に必要な事項を記入し提出

◆申込先・問い合わせ

復興企画課 コミュニティ推進係（☎82-3111 内線361）へどうぞ。



お気軽にお申し込みください

固定資産税に関するお知らせ

■期限までに固定資産税の納付を

平成31年度の賦課期日（平成31年1月1日）に課税となる資産を所有する人には固定資産税の納税通知書を4月中旬までに送付しますので、期限までに納付をお願いします。

なお、所有する資産が全て課税減免または免税点未満となった人には、納税通知書は送付しません。

▷納期限 ▶第1期…5月7日▶第2期…7月31日

▶第3期…12月2日▶第4期…来年1月31日

■震災減免特例措置を継続

津波浸水区域の土地や家屋に対する固定資産税の税額について、減免する措置を平成32年度まで継続します。減免対象区域については右表をご確認ください。

■固定資産税の縦覧

平成31年度の「土地・家屋等縦覧帳簿」の縦覧を行います。この縦覧制度は、納税者が所有する固定資産の価格が適正かどうかを判断するために、縦覧制度によりほかの固定資産の価格や面積などを見ることができる制度です。所有者や課税内容は非公開となります。

▷縦覧期間 4月1日～5月7日（土・日曜日、祝日は除く）

▷時間 午前8時半～午後5時15分

▷場所 町税務課

▷縦覧できる人 ▶納税義務者▶納税管理人▶代理人——など

▷持ち物 本人確認証明書（運転免許証、保険証など）、認印

◆平成31年度の震災減免対象区域

地 区	区域の全部或いは一部が減免となる住居表示または地番
境田町	1番～12番、15番～25番
川向町	1番～21番
中央町	1番～16番
八幡町	1番、2番、4番～12番
後楽町	1番～4番、6番、7番
北浜町	1番～4番、7番～14番
飯 岡	第1地割、第2地割
長 崎	一丁目～四丁目
山 田	第1地割～第6地割、第9地割～第14地割
船 越	第3地割～第16地割、第18地割～第23地割
織 笠	第1地割～第3地割、第6地割～第9地割、第11地割～第14地割
大 沢	第1地割～第3地割、第5地割～第13地割

※代理人の場合は委任状も必要です。

◆問い合わせ 町税務課資産税係（☎82-3111内線113、114、118.）へどうぞ。

平成28年台風10号により被災した皆様へ

宮古市、久慈市および岩泉町内に所在する不動産が台風10号により被災し、その代わりとして不動産を取得した人に対する不動産取得税の減免措置の対象要件が「平成35年3月31日までに取得」した場合に改正されました。詳しくはお問い合わせください。

◆問い合わせ 宮古地域振興センター県税室（☎64-2212）へどうぞ。

自治会などの活動に補助金を交付 住民協働推進支援事業

町では自治会などの活動に対し補助金を交付しています。本年度（4月1日～来年3月31日）に行われる事業に対する補助金申請を受け付けますので、希望する団体は期日までに申請書を提出してください。

▽対象団体 自治会、コミュニティ、自主防災組織、NPO

団体など（産業団体など営利法人は対象外です）
▽補助内容 活動費用の5分の4を上限に補助
※補助金は団体ごとに交付しますが、年間で1団体に交付できる金額の総額には上限があります。上限は対象世帯数によって異なりますので、詳しくはお問い合わせください。

◆申請先・問い合わせ 町復興企画課コミュニティ推進係（☎82-3111内線361）へどうぞ。

◆対象となる事業の例

項目	対象事業および事業内容の例
地域づくり	地域づくり計画の策定・周知、地域ワークショップの開催、地域性を生かしたイベントの開催など
地域福祉	各種健康づくり運動、世代間交流活動、地元食材を使用した料理教室など
環境衛生	ごみ減量化と適正分別への取り組み、廃棄物の不法投棄監視活動、買い物袋持参運動など
生涯学習・生涯スポーツ	お祭り・盆踊り大会の開催、地域リーダー研修会への派遣など
防災・安全	地域で独自に行う避難訓練、防災資器材の整備、道路の草刈りや除雪、登下校時間帯の地域内の見回りなど
産業振興	地場製品の消費拡大や生産意欲の向上に関する取り組みなど

日常生活で体を動かそう 生活習慣病予防教室

町では、生活習慣病予防のための運動教室を開催します。健康運動指導士が、自宅でも気軽にできる運動や正しいウォーキングのポイントなどを紹介します。参加費は無料です。ご参加ください。

▷持ち物など 動きやすい服装、飲み物、筆記用具、メガネ
▷受付期間 4月1日から開催日の3日前まで

◆問い合わせ 町健康子ども課健康づくり係（☎82-3111内線615、616）へどうぞ。

◆開催日程

日程	会場	時間
4月10日（水）	豊間根生活改善センター	午後1時半～3時 （午後1時から受付開始）
4月11日（木）	荒川農業構造改善センター	
4月12日（金）	ふるさとセンター	
4月17日（水）	田の浜コミュニティセンター	
4月18日（木）	町中央公民館小ホール	
4月19日（金）	船越防災センター	
4月20日（土）	保健センター	
4月24日（水）	大浦漁村センター	
4月25日（木）	織笠コミュニティセンター	

柳沢北浜地区土地区画整理事業 通行止め実施します

町では、町道日影線から柳沢北浜地区土地区画整理事業区域内の区画道路を4月上旬から8月下旬までの期間、道路工事を行うため、終日通行止めとします。通行止めを行う区間は下図のとおりです。ご理解ご協力をお願いします。

※天候等の影響により期間は変更になる場合があります。

◆問い合わせ 町建設課工務係（☎82-3111内線243）へどうぞ。



みんなで守ろう 交通ルールとマナー

- 4月6日から15日まで「登下校いつもの道こそ要注意」をスローガンに、新入学期の交通事故防止推進期間を行います。
- 運転手の皆さんへ
横断歩道は、歩行者が優先であることを自覚し、運転しましょう。
- ・同乗者にはシートベルト・チャイルドシートを正しく着用させましょう。
- 同乗者の皆さんへ
後部座席でも正しくシートベルト・チャイルドシートを着用しましょう。
- 歩行者の皆さんへ
道路を渡る際は、横断歩道を渡り、近くに横断歩道がない場合は明るい場所や見通しの良い場所を選び、左右の安全確認をして横断しましょう。
- 自転車を利用する皆さんへ
・自転車も車両であることを意識し、交通ルールを守って安全運転に努めましょう。
- ◆問い合わせ 町町民課生活安全チーム（☎82-3111内線126）へどうぞ。

農業労賃等標準額を改定

平成31年度の町農業労賃等標準額が右表のとおり決まりました。適用期間は4月1日から来年3月31日までです。次の留意事項も併せてご確認ください。

▶留意事項 ▶人力の部の実働時間が1日8時間を越えた場合、1時間単位で超過額を加算▶畑作業（人力の部）のパート作業は1時間当たり700円▶機械の部の標準額には全てオペレータ賃金と燃料代を含む▶湿田の耕起、刈り取り脱穀（コンバイン）は、10㍻当たり1100円増し▶刈り取り結束の結束用縄代は委託者負担▶もみの運搬費用は、10㍻当たり1100円▶牧草ラッピングは、ラップフィルム代を含む▶5㍻未満の代かきは、1割増し▶牧草こん包（ロールベアラ）の基準は1㍻×1㍻▶標準額には消費税および地方消費税は含まれていない▶農地の地理的条件や作業条件による増減額は、受託者と委託者の協議し決める▶その他詳細は両者の話し合いで決める

農地の権利を取得する際は相談を

町では、農地の権利を取得する際に必要な面積の下限を、10㍻以上（権利を取得する者またはその世帯員がすでに耕作している農地と、新たに権利を取得する農地を合計した面積）と定めています。農地を取得する際の要件など、詳細はお問い合わせください。

◆問い合わせ 町農業委員会事務局（☎82-3111内線217）へどうぞ。

◆人力の部

種別	金額	標準額 （1日8時間）	超過額 （1時間当たり）
水田作業		6100円	960円
畑作業		6100円	960円

※実働時間が1日8時間を越えた場合は、1時間単位で超過額を加える。また、8時間未満の場合の1時間当たりの金額は、770円とする。

◆機械の部

種別	使用機械・区分	単位	標準額
水田作業	耕起	耕運機およびトラクター	10㍻ 6100円
	代かき	〃	〃 6900円
	くろめり	くろめり機	1㍻ 60円
	田植え	田植機	10㍻ 6600円
	刈り取り結束	バインダー	〃 7400円
	刈り取り脱穀	コンバイン	5㍻未満 1㍻ 1710円
			10㍻未満 〃 1610円
			10㍻以上 〃 1510円
	乾燥	乾燥機	10㍻ 7600円
	脱穀	全自動脱穀機	1時間 4100円
畑作業	転作田草刈り	特に設定なし	10㍻ 5100円
	全般	耕運機およびトラクター	〃 5900円
	大豆刈り取り	汎用コンバイン	〃 12100円
	種まき	コーンブランター	〃 3100円
	刈り取り	コーンハーベスター	〃 9100円
	牧草こん包	ロールベアラ	1個 1600円
	牧草ラッピング	ラッピングマシン	〃 1600円
	たい肥散布	マニユアスプレッダー	10㍻ 3200円
	たい肥散布	噴霧器	10㍻ 1100円
	薬剤散布 （薬剤別途）	ブームスプレーヤー	10㍻ 1500円

地域を守る拠点へ期待

民間交番が開所

国道45号沿いの陸中山田駅付近に、民間交番「やまだ地域安全センター」が開所しました。管理運営するのは、町防犯協会（伊藤進一会長）で、人は常駐しません。防犯隊の定期パトロールや交通指導隊の事故防止啓発活動の際の集会所などに使われます。そのほか、子どもの見守りや交通安全に関わるボランティア団体も利用することが

でき、警察官の立ち寄り所としても活用される予定となっています。

震災後、山田交番が高台に移転。今回開所した民間交番は、駅付近の新たな防犯拠点として、防犯意識の醸成への効果が期待されます。

3月18日に行われた開所式には関係者ら約60人が出席。開所に係る建物の設置費用を寄贈・寄付いただいた各種団体の代表者へ伊藤会長から感謝状が贈呈されました。

式の最後には、防犯隊の大石秀男隊長と交通指導隊の佐々木正彦隊長がそれぞれ決意表明を行い、さらなる防犯活動の推進と、事故防止の徹底を誓いました。

県内唯一の民間交番となるやまだ地域安全センター。地域の安心安全を守る拠点として、今後活用されていきます。

◆問い合わせ 町町民課

生活安全チーム（☎82-3111内線125）へどうぞ。

開所した民間交番「やまだ地域安全センター」



4月1日付町職員人事異動

(カッコ内は前職)

4月1日付で、町職員の人事異動が行われました。各課の異動職員は、次のとおりです。

- ◆**総務課** ▷課長・選挙管理委員会事務局長（復興企画課長）甲斐谷芳一▷危機管理室長（同課危機管理室室長補佐）河村壽恵男▷選挙管理委員会事務局次長（町民課係長）佐々木剛
- ◆**財政課** ▷課長補佐・管財チームリーダー兼管財係長（農林課同）佐々木満
- ◆**復興企画課** ▷課長兼被災者再建支援室長（町民課長）川守田正人▷被災者支援係長（町民課主任）尾形晶子
- ◆**税務課** ▷主事（復興企画課同）佐藤裕史▷主事（建築住宅課同）田島安志
- ◆**農林課** ▷課長補佐・農林チームリーダー兼林業振興係長（財政課同）芳賀善一▷主事（農業委員会同）田村龍司
- ◆**水産商工課** ▷課長（健康子ども課長）野口伸▷課長補佐兼漁港係長（同課技術副主幹）高山賢次▷水産振興係長（健康子ども課主事）鈴木卓郎
- ◆**町民課** ▷課長（総務課長）佐々木真悟▷環境衛生係長（水産商工課同）蛇石準哉▷主事（上下水道課同）佐々木玲美▷主事（学校教育課同）阿部翔流
- ◆**長寿福祉課** ▷課長兼地域包括支援センター所長（水産商工課長）武藤嘉宜▷地域包括支援係長（同課社会福祉士）間瀬由希▷地域福祉係長（選挙管理委員会事務局次長）阿部寛子▷主事（建設課同）鈴木宇香
- ◆**健康子ども課** ▷課長兼子育て世代包括支援センター室長兼地域医療推進室長兼関口児童館長（同課課長補佐・健康づくりチームリーダー）濱登新子▷課長補佐・健康チームリーダー兼地域医療推進室長補佐兼健康管理係長（建築住宅課同）川村聡▷主事（農林課同）湊勝也
- ◆**建設課** ▷課長補佐・都市整備第2チームリーダー（同課都市計画係長）賢木祐▷課長補佐（復興企画課被災者支援係長）佐藤誠也▷都市計画係長（同課主任）赤崎友康
- ◆**建築住宅課** ▷課長補佐兼宅地整備係長（同課主幹）佐々木政勝▷課長補佐・建築住宅チームリーダー（同課課長補佐）田畑作典▷主任技師（建設課技師）山口大輔▷主事（農林課同）長澤雅之
- ◆**上下水道課** ▷主事（議会事務局同）千代川千聖
- ◆**学校教育課** ▷主事（長寿福祉課同）中村琴美▷主事補（税務課同）高橋晃大



- ◆**山田南小学校** ▷校務員（山田中学校同）湊真吾
- ◆**消防防災課** ▷課長・福士勝▷防災第三係長・若狭雅裕▷主査・福士尚一▷主査・熊谷秀智▷主任・佐々木圭一▷主事・佐藤次将▷主事・北村和也▷主事・箱石奨
- ◆**新採用** ▷長寿福祉課主事補・阿部真生▷長寿福祉課保健師・貫洞明日香▷健康子ども課保健師・大川美保子▷建設課主事補・横山龍▷建設課主事補・佐々木主浩▷議会事務局主事補・菊地綾佳
- ◆**再任用** ▷復興企画課主査・倉本收郎▷税務課主査・昆秀樹▷健康子ども課主査・川端京子▷建築住宅課主査・里館敏彦▷上下水道課技術主査・佐々木達彦▷ふれあいセンター所長兼図書館長・澤木次博
- ◆**任期付** ▷町民課主事（新採用）石井辰則▷健康子ども課主事（新採用）内館真知子▷船越保育園保育士（新採用）川村祐子▷船越保育園保育士（新採用）安部毬菜▷生涯学習課主事（新採用）三浦早稀▷生涯学習課（新採用）飯野広紀
- ◆**退職<3月31日付>** ▷総務課主幹・倉本收郎▷長寿福祉課長・菊池ひろみ▷健康子ども課課長補佐・西村淳子▷長寿福祉課地域福祉係長・高橋理奈▷長寿福祉課地域包括支援係長・佐々木裕子▷健康子ども課主査・白野大樹▷健康子ども課保健師・尾無徹▷船越保育園主任保育士・佐藤知佳▷町民課主査・岡市善敏（再任用）▷生涯学習課主査・花坂惣二（再任用）▷税務課主事・長根勝（任期付）

町長室から

三陸沿岸道路釜石山田道路の山田・大槌間が昨年度開通し、三陸沿岸道路の全線開通が刻一刻と近づいている。東日本大震災後、命をつなぐ道路として急速に造られるこの道路を活用しない手はない。何しろ東北自動車道と違って無料で利用でき、雪が降らない。八戸から仙台まで水産物を運ぶ車両や観光客が多く通ることが予想される。しかし、この道路には食事やトイレ休憩をとる場所がない。山田町には道の駅があるが、山田南インターチェンジからは少し距離があり利用していただけるか不安が残る。道の駅の皆さんとも相談して、町外から多くの人に立ち寄ってもらえる仕掛けを実現させることができれば、町にとって大きな経済的効果をもたらすことができる。と考えられる。三陸海岸のど真ん中にある山田町が三陸沿岸道路の中心になるように多くの町民と知恵を出し合っていきたい。

山田町長 佐藤 信逸



まちかどスナップ

放課後児童クラブ 支援員募集します

町では、放課後児童クラブの支援員を募集します。勤務を希望する人は、町町民課または役場各支所に備え付けの履歴書用紙に必要事項を記入し、お申し込みください。

▷仕事内容 放課後児童クラブにおける児童の見守りや施設
の環境づくり

▷勤務場所 町内の放課後児童
クラブ

▷勤務時間 ▶平日…午後1時
15分～6時15分▶土曜日・学
校休校日…午前8時～午後6
時

※上記勤務時間内で、年間平均
週30時間勤務となるよう調整
▷報酬月額 11万6千円～12万
4千円

※資格の有無により変動

▷申込期限 4月15日

◆申込先・問い合わせ 町健康
子ども課子ども子育て係(内
線602)へどうぞ。

障がい者を対象に スポーツ大会開催

県では「第21回岩手県障がい
者スポーツ大会」を開催します。
当日は本町から会場までバスを
運行いたします。

▷日時 6月1日(土)

午前9時～午後3時半

▷場所 ▶開閉会式…岩手県営
運動公園(盛岡市みたけ)

※競技は盛岡市内の各地で行い
ます。

▷競技内容 ▶陸上▶フライン
グディスク▶水泳▶卓球▶
アーチェリー▶ボウリング

▷参加費 無料

▷申込期間 4月17日

◆申込先・問い合わせ 町長寿
福祉課地域福祉係(内線149)
へどうぞ。

介護家族のための リフレッシュ教室

町では、家族を介護している
人を対象に、リフレッシュ教室
を開催します。介護の悩み相談
や情報交換ができ、介護を受け
ている人も参加できます。

▷日時 4月18日(木)

午後1時半～3時半

▷場所 まちなか交流センター

▷内容 レクリエーションと交
流会

▷講師 山田町地域包括支援セ
ンター職員

▷参加費 無料

▷申込期限 4月15日

◆申込先・問い合わせ 山田町
地域包括支援センター(☎82
-3136)へどうぞ。

手話奉仕員を養成 受講生募集します

手話奉仕員養成講座を開催し
ます。

▷開催期間 5月11日(土)～
11月30日(土)の間の土曜日(
全24回)

▷場所 イーストピアみやこ内
市民交流センター(宮古市宮
町)

▷対象 山田町に在住の18歳以
上の人

▷定員 若干名

▷テキスト代 3240円

※受講料は無料

▷申込期限 5月7日

◆申込先・問い合わせ 町長寿
福祉課地域福祉係(内線149)へ。

補助犬希望する人 申請受け付けます

県では、重度の視覚障がい者、
肢体不自由者、聴覚障がい者を
対象に「身体障がい者補助犬」
の給付申請を受け付けます。申
請するためには条件があります
ので、希望する方は4月4日
(木)までにご相談ください。

◆相談先・問い合わせ 町長寿
福祉課地域福祉係(内線149)へ。

予備自衛官補を 募集しています

国では、予備自衛官補を募集
しています。

予備自衛官補とは、自衛官未
経験者を対象とする制度であり、
自衛官として勤務するために必
要な教育訓練を修了したのち、
予備自衛官として任用する制度
です。

なお、予備自衛官補教育訓練
参加日は、手当として日額
7900円が支給されます。

▷応募資格 ▶一般…7月1日

現在18歳以上34歳未満の人
▶技能…別に定める国家免許
資格などを有する人で7月1
日現在55歳未満の人

※国家免許資格などの詳細につ
いては、お問い合わせくださ
い。

▷試験期日 4月20日(土)～24
日(水)の間のいずれか1日を
指定

▷試験場 盛岡市内を予定

▷申込期限 4月12日

◆申込先・問い合わせ 自衛隊
宮古地域事務所(☎63-
3881)へどうぞ。

甲種防火管理の 新規講習を実施

岩手県防災保安協会では、平
成31年度甲種防火管理新規講
習の受講者を募集しています。

▷日程 ▶5月16日(木)午前
9時50分～午後4時50分▶
17日(金)午前9時50分～午
後3時55分

※2日間の全課程を受講しなけ
れば修了証は交付されません

▷場所 宮古市民文化会館(宮
古市磯鶏沖)

▷講習区分 甲種防火管理

▷定員 100人

▷テキスト代 7500円

▷受付期間 4月2日～17日

※定員に達し次第締め切ります。

◆申込先・問い合わせ 岩手県
防災保安協会(☎019-631
-1625)へどうぞ。

各種相談会を開催 悩まずにご利用を

◎山田町法律相談センター

▷日程 4月2日(火)、9日
(火)、16日(火)、23日(火)

▷時間 午前9時～午後4時

▷場所 町中央コミュニティーセ
ンター2階第1研修室

▷相談内容 法律に関する悩み
事について

▷予約先 岩手弁護士会(☎
019-623-5005)

※事前予約の上お越しください。

◎行政相談所

▷日時 4月12日(金)

午後1時半～3時半

▷場所 町中央コミュニティーセ
ンター第2研修室、集会室

▷相談内容 行政機関への意
見・要望など

◆問い合わせ 町町民課地域安
全係(内線126)へどうぞ。

◎宮古地区法律相談【4月】

▷相談日 4日(木)、11日(木)、
18日(木)、25日(木)

▷時間 午前10時～午後3時

▷場所 イーストピアみやこ1
階(宮古市宮町)

▷相談内容 法律に関すること
について(相続関係や金銭ト
ラブルなど)

▷予約先 宮古市市民相談室
(☎62-2111)

◆問い合わせ 岩手弁護士会
(☎019-623-5005)へ。

◎岩手県行政書士会によるなん
でも相談会

▷日時 4月13日(土)

午前10時～午後3時

▷場所 町中央コミュニティーセ
ンター2階郷土資料室

▷内容 ▶遺産相続手続き▶遺
言▶住宅再建補助金▶起業
——など

▷予約期限 4月12日

※事前予約は不要ですが、予約
した人の相談が優先となりま
す。事前予約は、相談会前日
までにお願ひします。

◆予約先・問い合わせ 岩手県
行政書士会事務局(☎019-
623-1555)へどうぞ。

おめでた・おくやみ

2月届け出分（敬称略）

【出生】（ ）は性別と保護者

▷山田 佐藤寿音（女・進哉）

▷田の浜 山崎伊織（男・圭）

▷織笠 佐々木琳心（女・慧）

▷石峠 桂真央（女・英之）

【結婚した二人】（ ）は住所

神崎誠（一関市）・昆彩音（織笠）

畠山優一郎（宮古市）・刈屋優衣（飯岡）

【死亡】（ ）は年齢

▷山田 芳賀永治（91）、山根勝治（82）、長崎幸介（83）

▷船越 松崎勝民（81）、福館倉吉（97）、菊地トキミ（101）

▷田の浜 佐々木義松（82）

▷大浦 小林スゲ（95）

▷織笠 佐々木とよ（66）、貫洞勝子（80）、沼崎幸（96）、竹内ノリ（83）、昆恵造（73）、渡部テル（88）

▷豊間根 齋藤一二三（89）、豊間根信男（85）

▷石峠 豊間根キノエ（96）

▷荒川 斎藤コト（95）、山口恭弘（88）

町民のうごき

（2月1日～28日）

▷出生……4人 ▷転入……14人

▷死亡……22人 ▷転出……35人

▷人口…15,580人（今月減39人）

男…7,609人 女…7,971人

▷世帯数………6,605世帯

◆三陸鉄道リアス線が誕生しましたね。列車の音を聞くだけでなく、更なる活気が町に溢れたように感じます。お得な回数券もあるとのこと。春の連休に利用してみたいかがでしょうか。

◆轟木小学校の卒業式を取材。卒業証書を受け取る姿は、とても凛々しく、輝いていました。私も児童たちに負けないように今年度の広報編集を頑張りますので、よろしくお願ひします。



※敬称略、（ ）内は地区名・性別・保護者です。



貫洞 咲成
（八幡町・女・厚）



鈴木 さくら
（飯岡・女・浩司）



平石 惟千
（山田・女・凌）



柴田 芽李
（大浦・男・菜月）



佐藤 明咲
（大沢・女・文哉）



山口 爽
（荒川・男・美咲）

白石集落ごっとな会

そば＆野菜づくり全部体験

白石集落ごっとな会では、そばと野菜を一から育てる体験会を行います。種まきからそば打ちまで全10回の体験会です。各実施日の2日前までにお申し込みください。

▷時間 午前9時～午後0時半

▷場所 織笠地区白石集落水車小屋

▷参加費 1回1人800円（高校生以下無料）

※年会費5000円一括払いで、すべての体験に参加できます。

▷留意事項

- ・下表の主な作業のほか、そばの花見、脱穀作業なども行います。
- ・そば打ち体験は、体験会に1回以上参加した人のみ参加できます。
- ・天候などにより実施内容の変更があります。

◆申込先・問い合わせ やまだワンダフル体験ビューロー（☎82-3111内線227）へどうぞ。

◆体験会年間スケジュール

実施日	主な作業
4月14日（日）	ジャガイモ、トウモロコシの植えつけ
5月26日（日）	畑の手入れ、サツマイモの植えつけ
6月23日（日）	芽キャベツの植えつけ、サツマイモの手入れ
7月21日（日）	そばの種まき、芽キャベツの手入れ
8月4日（日）	トウモロコシの収穫
8月25日（日）	ジャガイモの収穫、大根の植えつけ
9月23日（月）	そば収穫
10月6日（日）	サツマイモと芽キャベツの収穫
11月10日（日）	大根の収穫
12月8日（日）	そば打ち体験